

平成 25 年度 福祉教養科第 3 学年 介護実習報告会（平成 25 年 1 月 29 日実施）
アンケートより

【学校関係者】

- ・ パワーポイントを用いた発表形式でとてもわかりやすく説明することができていた。3 年生の発表だったので、これまでの継続した学習が成果に結びついているなど感心した。
- ・ 生徒たちの立派な発表に感動しました。ケアプランをぼかしでも良いので、サンプルとして見たかった。
- ・ 1 年生から 3 年生での実習等を通して、日々成長しており、素晴らしいと思った。また、実習報告会を通し、とても実りのある学びを行っていることが感じられた。一人の利用者を理解し、ケアを考えていることも伝わってきた。本当に素晴らしい報告会だった。

【施設関係者】

- ・ どの事例も、利用者のニーズをよく汲み取っていたと思う。30 日間という短い期間で、ニーズを理解し、情報収集、介護計画立案という事をよくできたと思う。また、生徒の発表も、誰しも落ち着いており、質問に対しても戸惑うことなく落ち着いて答えられており、とてもしっかりしていると思う。介護の知識も身に付いている上に、社会人としての礼儀も重ねて、素晴らしい発表だと思った。
- ・ 実習終了後から約 1 ヶ月という期間で、皆さんとてもよくまとまっていて、発表もとても聞きやすかった。自分の考え等を発表することはとても難しいが、その分自信が持て、成長につながると思う。介護計画実施期間が短く、思っているような変化は少ないと思うが、報告会のための実習にならないように、利用者のペースで、焦らず進めていってほしいと思う。実習中にたくさん悩み、考えた生徒、自信に満ちあふれ、頼もしく見えた。
- ・ アセスメントから評価までの流れもしっかり実施できており、素晴らしい発表だった。一人の利用者に対し、介護過程の理解を深めることができれば、今後介護福祉士になった時も、利用者に対し、良い支援ができると思う。今日の発表を聞き、細かい部分の情報提供も必要になると感じた。今後の実習で意識していきたいと思う。
- ・ 各発表者ともに、具体的な計画と評価が行えていたと思う。話が聞けて良かった。
- ・ 生徒一人ひとりが、利用者のニーズをよくとらえ、細かく観察して、介護計画を立案していた。とても素晴らしい発表を観させてもらった。利用者の目線で物事を考え、何を求めているのか、どのように支援していくことが一番良いことなのかを考えていた。介護はまず、信頼関係から始まる。相手の言葉、目線、表情、すべての中から何を求めているのか、常に考えていく大切さを改めて実感している。「聞くと「聴く」の違いは何かを考えていくこと、細かい人間観察を身に付けていってほしい。私もとても良い勉強になった。
- ・ 一つひとつの発表が細かく内容設定されており、とても内容は良かったと思う。介護過程で重要なのは、利用者主体という視点である。今回の発表では、その部分がしっかりできていたと考える。実際の現場では、一日じっくり寄り添って行うのは難しい部分もあるが、生徒一人ひとりがしっかりと寄り添い、ニーズを把握し、計画を立案、実施することで利用者の生活全般が向上することもみられるようになり、我々職員側も改めて、利用者に対しての支援について考えさせられる面も多かった。今後も実習を通し、生徒たちが成

長する過程をお手伝いすることができればと思っている。

- ・ 毎回、素晴らしい報告会で、本当に感心する。根拠を把握する事の大切さを改めて実感させていただいた。報告発表者の生徒もとても堂々とされている事、他、案内や受付の生徒も雰囲気良く接してくれた。
- ・ とてもすばらしい事例を聞かせていただいた。まず高校生が、アセスメント、計画、評価、考察をしっかりと行えることにびっくりした。当施設にも沢山の職員がいるが、果たして全職員が、お客様のニーズに対してどれだけの支援が分かり、計画が立てられているのか…と考えてしまった。改めて施設職員の指導を考えていかなければと感じた。また、事例を聞いて、基本である「一人おひとりに寄り添う」事の大切さを再確認した。本当に良い機会を与えていただいた。皆さん頑張ってください！！これからも応援している。
- ・ 高校生の報告会に思えない程、内容がすばらしいものだった。もしかすると施設の職員より、個々の入居者について理解できたのではないかと、想いが伝わってきた。その想いを忘れないで、介護の道に進んでいってほしいと思う。
- ・ 初めて実習報告会に参加させていただいた。どの発表も細かく利用者の観察とコミュニケーションを上手に取り、利用者さまのニーズを引き出すことができ、その人らしい生活の意味をしっかりと学べていると思った。今回の発表では自施設で実習を終えた生徒ではありませんでしたが、自施設へ実習でこられた生徒は一生懸命利用者と向き合い、たった30日間という短い期間ではあったが、しっかり信頼関係も築けるまでになっていた。指導する側も、生徒たちから学ぶ事もあり、指導する職員にとっても良い刺激になっている。
- ・ 3学年の発表で、利用者とのコミュニケーションがよくとれており、ニーズをしっかりと把握しているなど感心した。残念ながら、私の施設へ実習に来られた生徒の発表はなかったが、どんな実習報告書を提出されたのか、とても気になった。生徒たちが実習を受けて、施設でどのような思いや経験をして何を感じたのか知りたいし、(反省会はあるが…)生徒が施設で思ったことを基に、施設も改善につなげられたらうれしいと思う。今回の発表会では、足浴や編み物などが多く、私の施設へ実習に来られた学生も足浴を提供していた。数年前よりも、介護計画立案、実施、評価のレベルが上がったと感じると共に、すばらしい生徒が増えたこと、指導者として頼もしく思う。
- ・ 皆さん、ハッキリしっかり意見を持ち、発表されていて、すばらしいと思えた。パソコンの操作も上手で、とても見やすく、わかりやすかった。ただし、パワーポイントのイラスト挿入の多いことや、吹き出しの多用は、せつかくの報告が幼く見えてしまい、残念に思えた。また来年も参加させて頂きたいと思う。
- ・ とても細かくアセスメントされており、とてもわかりやすかった。施設でもとても勉強されたと思う。
- ・ 細部に渡り教育され、育っている事がよく分かった。改めて実習生の受け入れ施設としての責任を感じている。
- ・ ケアについて根拠ある説明があり、実習での成果を発表できていたと思う。個別ケアにて、自ら今何が出来てニーズは何であるかをよく理解されていたと思う。また各施設での取り組みを理解し、協力されていたこと、チームで解決するのではなく、作り上げること

の大切さが分かる発表だった。これからの皆様に期待する。

- ・ 内容の濃い発表ですごいと感じた。何より対象者に関心を持って取り組んでいたことが発表から伝わってきた。

【保護者】

- ・ 生徒は、真剣さ、真面目さ等が感じられて良かった。
- ・ 日々の施設の仕事の中で考えてはいても出来ない事を、しっかりした考えの中で、施行・実施している事に感動した。学ぶ点がたくさんあり、持ち帰り、すぐに実施したいと思った。